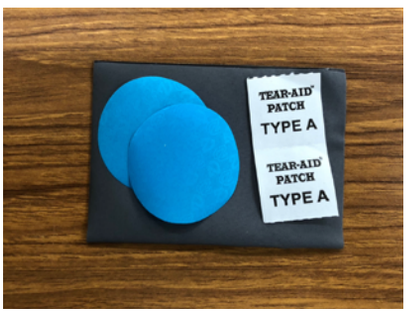
NEMO スリーピングパッド(穴あき)の修理方法

大きな穴の補修または自宅で確実な修理をする場合

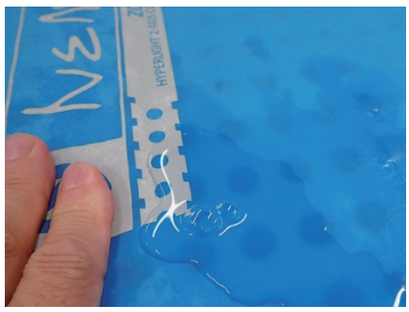


1. 用意するもの

収納ケースの内ポケットにはリペアシートと応急修理用のリペアパッチ(Tear-Aid)が入っています。今回はエア漏れ修理依頼がもっとも多く、見つけにくいピンホールからのエア漏れについて説明します。
修理には付属のリペアパッチの他にアウトドアショップ等で販売されているシームグリップやアクアシール等のウレタンベースの接着剤(チューブタイプ)が必要です。
※2018年以前に生産された製品にはリペアパッチの代わりに接着剤が付属します。

2. 大まかなエリアを特定する

パッドを膨らませてから、濡らした手をパッドの上にかざし、少しずつ手を移動させながらエア漏れの大体のエリアを特定します。手を濡らすことでエア漏れによる微量の空気を感じることができます。
※この作業は風の影響がない室内で行ないます。
微量のエア漏れを効果的に見つけるにはパッドの上に乗るなどして適度な圧力をかけ続けることが有効です。

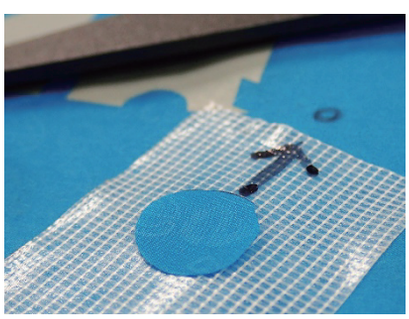


3. エア漏れのポイントを特定する

2で大まかに特定したエリアに少量の水をかけます。小さな泡が出ているところがエア漏れのポイントです。
※この時もパッドの上に乗るなどして適度の圧力をかけ続けることが有効です。
※穴は複数個所に空いていることがあるのでパッド全体をくまなく調べてください。
※手順２～３で紹介しているエア漏れ箇所を特定する方法以外にも、水を張ったバスタブ等に膨らませたパッドを浸し、表面から出る気泡を探す方法があります。

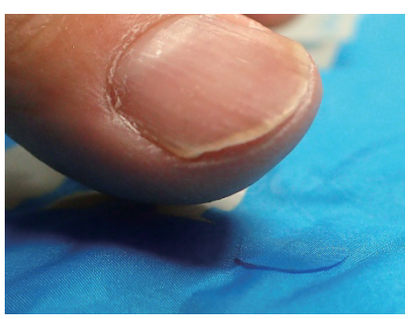
4. ポイントに印をつける

油性ペンでエア漏れのポイントに小さく印をつけます。
その後、パッドのバルブを開いて空気を完全に抜きます。



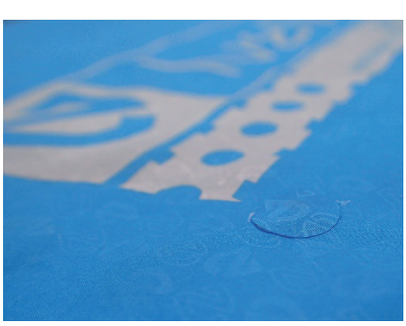
5. リペアシートをカットする

穴の大きさより少し大きめにリペアシートをカットします。
※必要以上に大きくシートをカットする必要はありません。シートが剥がれないように角を丸めてカットしてください。



6. シートで穴を塞ぐ

リペアシートを穴の上に貼り付けます。シート全体をくまなく指先でしっかり押さえます。リペアシート全体がしっかりとパッドに密着して剥がれないことを確認します。



7. 最終確認

再度パッドを膨らませて上に乗ってエア漏れがないか、不完全な接着箇所がないかを確認して終了します。※ロール状に丸めて収納するため、リペアシートがしっかりと接着されていない箇所があるとそこから剥がれることがあります。

8. その他

・エア漏れ箇所を特定するために表面が濡れていた場合は、きれいに拭いて乾燥させた後に少し盛るようにして24時間乾燥させます。大きく裂けているような場合の完全な修復は、難しい場合があります。

直径 5mm 以下の穴をフィールドで一時的に応急修理する場合

1.エア漏れのポイントを特定してから穴の周囲の汚れを落とし、完全に乾燥させます。

2. パッドのバルブを開放して中の空気を抜いてから付属のTear-Aid をシールの要領で剥がし、Tear-Aidの中央に穴がくるようにしてパッドにしっかりと貼り付けて穴を塞ぎます。この際、シートが剥がれないように指でシート全体をしっかりと抑えつけてください。
※Tear-Aidパッチは全国のアウトドアショップの店頭でもお買い求めいただけます。

その他修理に関してご不明な点がございましたらお問い合わせください。

TEL: 03-3555-5605　　e-mail: otoiawase@iwatani-primus.co.jp